

一般社団法人日本鉱物科学会
2020年度第3回定例理事会 議事録

【1】招集年月日：2021年8月19日(木)

【2】開催年月日及び時刻：2021年8月28日(土) 14時00分～16時45分

【3】開催場所：国立科学博物館総合研究棟4階 地学研究部長室
〒305-0005 茨城県つくば市天久保4-1-1
(Zoom Meeting によるオンライン会議)

【4】理事総数および定足数：総数22名，定足数12名

【5】出席理事数：19名(オンライン会議参加)

宮脇律郎，大和田正明，安東淳一，阿部なつ江，井上 徹，池田 剛，磯部博志，
大藤弘明，鍵 裕之，片山郁夫，川本竜彦，河上哲生，栗林貴弘，黒澤正紀，
辻森 樹，永嶋真理子，伴 雅雄，三宅 亮，吉朝 朗

【6】欠席理事数：3名(土屋範芳，長瀬敏郎，坂本尚義)

【7】出席監事：小暮敏博

【8】オブザーバー：(理事以外の幹事，委員長等報告事項報告者)

出席：和文誌編集委員会 高澤栄一編集幹事代理，JpGU選出プログラム委員門馬綱一委員，
同委員西原遊委員，教育普及委員会林信太郎委員長，新鉱物・命名・分類委員会
門馬綱一委員長，博物館委員会坂野靖行委員長，
IMA小委員会・学術会議西山忠男委員長，名誉会員推薦委員会小山内康人委員長
欠席：Elements森下知晃幹事

【9】議事概要

宮脇理事の発議により議長を理事の互選で選ぶことになり，黒澤正紀理事が議長に選出された。黒澤議長から，2021年8月19日に理事会招集通知を行い，本日第3回定例理事会を開催することになった旨の報告があった。

次に，決議定足数と開始時刻における出席理事数の確認を行い，理事19名の出席を確認したので，定款30条により理事会が成立した。このことを受け，黒澤議長はWEB会議システム(ZOOM Meeting)を用いての理事会開会を宣言した。また，WEB会議システムの通信状況(出席者全員の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり，適時的確な意見表明が互いにできる状況)に問題がないことを確認し，2020年度第3回定例理事会を開始した。

会議に先立ち，理事の互選で黒澤正紀理事が書記として選出された。

I. 報告事項

1. 会長・副会長の職務執行報告（宮脇会長・大和田副会長）

会長・副会長より、学会体制の健全持続化に向けて関係幹事に方策を講じるように指示があった。個別の業務は各担当者に一任していることから、以下の順に沿って各担当者から報告を行うことが述べられた。

2. 会員報告（阿部会員幹事・理事）

阿部会員幹事より、2020年度第2回定例理事会(2021年5月29日)以降の会員動静について、以下の通り報告がなされた。

退会者2名(内訳：シニア会員1名、一般会員1名)であった。また、2019年5月25日第2回理事会において、会費未納のため資格停止となっていた会員1名(記載省略)が会費を全納して復活したことが報告された。

3. 広報報告（大藤広報幹事・理事）

大藤広報幹事より、広報活動について以下の通り報告がなされた。

- (1)会員へのML送信:事務局を通じ、2020年は総会以降に3件、2021年は8/24時点で9件配信。内容は、学会事務連絡、学術雑誌の刊行案内、公募情報、関連学会案内(協賛イベント情報)など。7/28のメールニュースでGKK、JMPSの完全電子化についての理事会報告を周知。そのほか、小惑星探査機「はやぶさ2」の地球帰還を受けての声明文やコメント動画(土山会員)のリンクも掲載。
- (2)2021連合大会のオンラインブース展示(Confitを利用):学会活動(活動概要、学会誌、年会、入会案内等)の紹介や鉱物の性質(劈開、モース硬度、蛍光)紹介の動画を愛媛大学の会員の協力で作成、昨年度作成の動画と併せて公開。また、ZOOMを利用した鉱物に関するライブ実験を2回公開、好評を得た。公式SNS(Twitter、Facebook)による宣伝効果もあり、223名の来場者と延べ328回の閲覧達成(大会展示担当の集計)。また、クイズラリーにも参加、賞品としてヒスイ、スピネル砂を提供。
- (3)株式会社「えにさむ」より、学会の活動内容、社会との関わりなどに関する取材依頼があり、宮脇会長と広報幹事で対応。取材内容は、同社のホームページの「古イ未来」のコーナーで紹介予定。
- (4)8/20にZOOMによる広報委員会を開催、今後の広報活動の在り方、方向性を議論。公式SNS(Twitter、Facebook)とYoutube(動画コンテンツ)を活用した広報展開の強化を決定。公式Youtubeチャンネル担当の広報委員の1名追加を検討中。SNSによる会員、非会員へ向け、会員による新しい発見や重要な研究成果等(プレスリリース記事へのリンク等)を学会公式SNSを通じて発信する試みを開始予定。
- (5)鉱物科学分野に関係の近い民間企業がリクルート情報などを掲載できるよう、専用窓口をホームページ上に整備することを検討中。また、企業と学生会員とが相互に交流・意見交換のできる懇談会を年会などに併せて企画することも検討中。

4. 渉外報告（永島渉外幹事・理事）

永島渉外幹事より、渉外活動について以下の通り報告がなされた。

「宝石切手」の件:2019年6月に日本宝石協会から協力要請があり、2019年度第2回定例理事会で了承された「宝石切手」の件について、2021年6月21日に日本宝石協会 宝石切手委員会 松室明雄委員長より切手用写真の提供依頼があった。選定条件が限定的で、締切が非常に短期間であったため、宮脇会長と相談の上、博物館に所属する日本鉱物科学会の会員を中心に個別に対応を依頼。6月末

までにJAMS会員から提供された写真を日本宝石協会 松室委員長に提出,その後,他の連名団体(日本ジュエリー協会,宝石学会,日本宝石協会)提供の写真と合わせて,日本郵政と日本宝石協会による1次・2次・最終選考が実施された。結果,JAMS会員から提供された写真1枚が宝石切手に採用されたとの連絡があった。宝石切手は2022年2月22日に発行予定。

5. 和文誌編集報告(長瀬和文誌幹事代理:高澤栄一)

高澤和文誌編集幹事代理より,2021年5月29日に開催された第2回定例理事会報告以降の状況について以下の報告がなされた。

編集状況報告:1)2021年8月25日現在まで,岩石鉱物科学50巻2号,3号の合計2号を発行。掲載件数頁数は原著論文1件8p,資料・解説6件47p,新刊紹介1件1p,学会記事(理事会・総会議事録)25p,広告1件0p,白頁2p,2号分合計頁82p,1号平均頁41p,2)発行状況:50巻2号(2021年5月31日発行;電子ジャーナル2021年5月26日公開)受賞紹介3編:50巻3号(2021年7月31日発行;電子ジャーナル2021年7月13日公開)原著1編,資料他2編,3)現在受理論文が1編。

6. 英文誌編集報告(吉朝英文誌幹事・理事)

吉朝英文誌幹事より,JMPSの編集状況および2021年7月27日の第3回臨時理事会で承認された事項について以下の報告がなされた。

(1)報告事項:1)JMPS状況報告:2021年5月の報告以降,2021年8月25日現在まで116巻3号(6月号)を発行。掲載件数:Articles 5件,Letters 2件,合計頁70p。2)今後の発行予定:116巻4号(8月号)(原著論文5件,Technical Note 1件,印刷中2件,準備中4件),116巻5号(10月号)(未定)。3)現在の編集状況:受理論文0編(10月号予定),査読中4編,返却中0編,投稿:1編。4)2020 JMPS Impact Factorは0.721となり,2019年の0.764より減少。以上から,JMPSへの投稿はほぼ例年通りで,順調に発行されていることが報告された。

(2)第3回臨時理事会で承認された事項:1)JMPS誌での学会費用による英文校閲中止:刊行費の経費節減として,JMPS誌での学会費用による英文校閲の中止を承認。今年9月の総会終了後の投稿から適用予定で,以後は投稿者の責任で校閲をお願いする。2)JMPS誌は,J-stageを通じた論文へのアクセスが非常に向上しており,利便性と受益者負担の観点の観点から,現行4,000円/頁のところを,会員6,000円/頁,非会員8,000円/頁とすることを承認。今年9月の総会終了後の投稿から適用する予定。図版等のカラー化に伴う追加のページチャージについては今後検討。なお,ページチャージは,著者である支払い者が会員であれば会員価格適用,著者である支払い者が非会員であれば非会員価格適用。値上げにより,海外からの非会員の投稿が減る可能性もあるが,投稿者はできるだけ会員になってもらうという方針での値段設定。3)JMPS誌の「次回投稿のページチャージに対する30%割引クーポン」を今年9月の総会終了後から発行しないことを承認。発行済みクーポンは,有効期間2年間以内は有効。4)JMPS誌の無料別刷50部の著者配布サービスの廃止:電子ジャーナル化に伴い,その廃止を承認。来年2022年1月からの実施を予定,関連投稿規定も改訂の予定。

7. 庶務報告(黒澤庶務幹事・理事)

黒澤庶務幹事より,2021年5月29日第2回定例理事会報告以降の庶務業務について以下の報告がなされた。

1)2020年度第3回臨時理事会(2021/07/27:WEB会議),第4回臨時理事会(2021/08/17:WEB会議),第3回定例理事会(2021/08/28:WEB会議)日程調整,開催準備,WEB会議準備,資料作成,議事録作成確認。2)2020年度定時総会開催日時,準備,ZOOM設定,総会資料作成,場所,開催方法などの検討と

準備,受賞者へ受賞通知,授賞式記念品準備,各委員会開催案内.3)会員へのメールニュース連絡,学会誌発送,国内外寄贈図書整理,海外寄贈学会誌発送.4)後援,共催,協賛対応.5)令和4年度科学技術分野の文部科学大臣表彰受賞候補者推薦お知らせ.6)一般社団法人定時社員総会「招集通知」の電磁的方法(メール)採用への同意お願い.7)事務局管理など.

8. 行事報告(磯部行事幹事・理事)

磯部行事幹事より,2021年年会・総会および2022年年会について以下の通り報告がなされた.

1)2021年度年会・総会の開催形態については,新型コロナウイルス感染状況を踏まえて迅速に対応するため,行事委員会と現地LOCに対応を一任してほしい.2)2022年年会については,以前の理事会で報告の通り,9月17~19日の学術講演会,20日の巡検(糸魚川方面)である.年会の開催形態や企画等は行事委員会で検討中.

9. Elements報告(森下 Elements幹事:代理黒澤庶務幹事)

特に無し.

10. 将来企画委員会報告(大和田委員長・副会長)

大和田委員長より,2021年5月29日開催の将来企画委員会の内容について,以下の報告がなされた.

(1)鉱物科学会の現状と将来企画:財政状況を含む学会の現状と議論について説明があり,将来の会員減に向けての備えを長期的視野に立って,議論することが確認された.

(2)学会の将来像を見据えた新たな企画:1)学会入会でメリットにつながる企画の立案・実施や有用情報の継続的発信,2)海外からの学会参加の利便性向上のため,電子マネー等での参加費支払いを可能にする,3)クレジットカード等による学会費納入,4)高校生や大学の低学年学生を対象に学会へ取り込み,5)鉱物科学を中心とした中学校理科の副読本の執筆,6)会員以外の鉱物愛好者を取り込み,裾野を広げるような企画の継続的实施(今年年会では「一般向け普及講演:はやぶさ2」を開催),等の企画が提案された.

11. 特務幹事(細則等検討担当)報告(大和田特務幹事・副会長)

特に無し.

12. 地惑連合報告(阿部連絡担当委員・理事)

阿部JpGU地惑連合連絡担当委員より,JpGU理事会関係について以下の報告がなされた.

1)準会員(学部生会員、高校生等一般)について,連絡不通の会員が相当数いるため,その扱いについて検討中.2)2022年大会案:2022年5月22日(日)~5月27日(金)の6日間,幕張メッセの国際会議場(現地)でオンラインのハイブリッド形式で開催予定.10月1日(金)~11月2日(火)にセッション提案募集予定.3)国際対応:AGUからの提案で,JpGU,EGU等11学会が賛同し,4つのテーマ(Early Career,声明・政策,アウトリーチ,DEI)について国際タスクグループを編成する予定.4)2022年代議員選挙 8月13日9:00-9月13日17:00立候補・推薦受け付け.10月4日9:00-11月4日17:00投票.5)大規模アンケート:男女共同参画学協会連絡会により4~5年に一度実施している大規模アンケートを,2021年10月20日~11月19日の期間で実施予定.アンケート結果は,政府機関等への政策提言にも利用.内閣府科学技術イノベーション基本計画等にも反映されるので,多くの人に回答頂きたい.

13. IMA小委員会・学術会議報告（西山IMA小委員会委員長,学術会議連携会員）

西山委員長より、学術会議の状況について以下の報告がなされた。現在、学術会議は任命拒否問題に関連して改組等が検討されており、その一環として国際委員会の取り組みの変更も議論されている。当学会としても国際学会の加盟金・開催補助・代表派遣旅費等で関連するため、注視している。

14. JpGU 2021年学会選出プログラム委員報告（門馬委員長） 特に無し。

15. 新鉱物・命名・分類委員会報告(門馬委員長)特に無し。

16. 教育普及委員会報告（林委員長）

林委員長より、2021年7月3日に開催された教育普及委員会での会議内容について以下の報告がなされた。

(1)中学校理科教科書の内容チェック：中学校理科教科書における鉱物名の表記は、漢字表記、漢字混じりのカタカナ表記の2種類があり、教科書会社ごとに異なる。この問題について「中学校理科教科書における鉱物名の表記について」との講演を年会で行う予定。鉱物科学会で「教科書に使用する鉱物名のガイドライン」のような統一的基準を示した方が良いかを会員から意見聴取の予定。

(2)会員の普及活動のリストの収集：JOGMECでの活発な普及活動の実施を把握。引き続き、鉱物科学会会員が鉱物学の普及にあたっている例を探し、リストアップする予定。

17. 博物館委員会報告（坂野委員長） 特に無し。

18. その他の報告

(1)財政、雑誌・編集、事務局体制再建に向けた検討報告（大和田副会長）

大和田副会長より、学会の財政問題に関する検討結果が説明された。雑誌・編集関係での会計収支改善策の1つとして、電子ジャーナル化に移行することが了承され、実現に向けて課題を洗い出し、対応策や今後の予定を準備している。重要なものとしては電子版作製を委託する業者の選定などである。事務局に関してはまだ課題や問題点を整理中である。

(2) 理事交代の件（宮脇会長，黒澤庶務幹事）

黒澤庶務幹事より、長瀬敏郎理事(東北大学)から、一身上の都合により9月17日付けで理事を辞任する旨の届けが提出されたことが報告された。また、残任期の補欠理事として、昨年の役員選挙で次点当選された永井隆哉会員(北海道大学)を、9月17日の総会での「理事の辞任に伴う補欠理事の選任」として審議する予定であることが報告された。

(3) WRT-17 開催に関する報告（土屋理事，代読：黒澤庶務幹事）

黒澤庶務幹事より、来年開催予定の国際会議WRT-17について、2023年8月に延期して開催を計画している旨、報告がなされた。

(4)その他：特に無し

II. 審議事項

第1号議案 新入会員承認の件（阿部会員幹事・理事）

阿部会員幹事より、一般会員3名(記載省略)の入会が紹介され、異議なく入会が承認された。この結果、2021年8月28日現在の会員数総数は842(内訳一般会員541名、シニア会員172名、学生会員88名、永年会員32名、名誉会員9名)で、2020年8月29日の定例理事会後より2名減少となった。

第2号議案 2021年度補正収支予算案の審議（栗林会計幹事・理事）

栗林会計幹事より、2021年5月28日第2回定例理事会で承認された2021年度収支予算案について、その後2020年度会計決算(第5号議案で説明)が確定したことにより、次年度繰越額を記載した2021年度補正収支予算案として提示がなされた。なお、2021年度後半から雑誌の電子化等による節減策が予定されているが、現時点においても未確定要素が多いことから2020年度と同様の収入・支出を見込んだ予算案となっていることが説明された。審議の後、2021年度収支予算案は異議なく承認された。なお、予算は理事会承認事項であり、総会承認事項ではないが、総会では最終予算案を報告する。

第3号議案 会員会費規定、運営細則一部改正の審議（大和田副会長）

大和田副会長より、JMPS誌及びGKK誌を電子ジャーナル化への移行に伴い、以下の(1) 会費の変更とそれに伴う規定の改訂、(2) 運営細則の一部改訂、(3) 冊子体頒布費用1000円の返金方法が提案され、審議の結果、異議なく承認された。

改正箇所

(1)会員会費規定の第3条と第5条の一部改正の件

第5条の改正は総会での承認が必要なため、第6号議案(総会の議題・議案について)の決議事項に含まれる。

会員会費規定（権利）

第3条 本会のすべての会員は、以下の権利をもつ

- (1) 会誌等の受領。
- (2) 会誌への寄稿
- (3) 本会の開催する年会、講演会、研究会等における研究発表
- (4) 本会の開催する年会、講演会、研究部会、見学会等の事業への参加
- (5) 本会の開催する事業に関する情報の受領

~~2 前項(1)の会誌については、正会員及び名誉会員は冊子版及び電子版の購読、または電子版のみの購読のうちいずれかを選択する。~~

~~3 本条第1項(1)の会誌については、賛助会員は冊子版のみ購読することができる。~~

~~4 2年会費の支払義務を2年以上履行しなかったときは、会員資格及び第1項の権利を喪失する。ただし、未履行の義務についてはこれを免れない。~~

会員会費規定（年会費）

第 5 条 本会の会員は、会員区分に応じ以下に定める年会費を納付しなければならない。

(1) ~~電子版及び冊子版を購読する会員：一般会員 10,000 円、学生会員 5,000 円、シニア会員 8,000 円、名誉会員及び永年会員 1,000 円~~

~~(2) 電子版のみを購読する会員：一般会員 9,000 円、学生会員 4,000 円、シニア会員 7,000 円、名誉会員・永年会員：無料~~

~~(3) (2) 賛助会員：1 口 20,000 円~~

2 シニア会員は、申し出によって、雑誌Elements の受領を辞退することができる

その場合のシニア会員の会費は、~~電子版及び冊子版を購読するシニア会員6,000 円、電子版のみを購読するシニア会員5,000 円~~となる。

（附則）

本規程は、一般社団法人日本鉱物科学会設立の登記日に遡って適用されるものとする。

平成30年9月20日改正。この改正は、2019年8月1日から実施する。

2021年9月17日改正。2021年8月1日に遡り適用されるものとする。

(2) 運営細則と年会運営に関する規定の一部改正

冊子体業務の変更に伴う、運営細則における幹事の業務内容の一部改正、および年会の運営に関する細則の一部修正する。

運営細則（幹事会）

第 5 条 各幹事は次に掲げる業務を分担する。

(3) 会計

(イ) ~~会費及び会誌購読料の請求及び収納~~

(ロ) 補助金申請事務及び寄付の受付

(ハ) 現金の出納及び保管

(ニ) 会計帳簿及び証書類の整理と保管

(ホ) 予算及び決算に関する事項

(ヘ) 物品の購入・保管及び売却

(ト) その他会計に関する事項

運営細則（年会及び各種行事）

第 21 条 年会以外の講演会、討論会、講習会等は行事幹事が企画立案し、理事会の承認を経て行われる。また、他学会と共催等とする講演会等は理事会の承認を必要とする。

附則

本規則は、一般社団法人日本鉱物科学会設立の登記日に遡って適用されるものとする。

令和3年8月28日改正。

(3) 冊子体頒布の費用1000円の返金方法について

2022年1月から電子ジャーナルに移行すると、現在の冊子体購読費用(1000円)の約半額500円が不要となり、冊子体購読費用込みで会費を納付した会員からは余分に会費を頂いていることになる。定款には「既納の会費は、いかなる理由があってもこれを返還しない」とあるので、以下の方法で返金を行う。

総会での会費改定承認前までに現在の冊子版会費で1000円を納入した会員には、冊子半年分の

500円の返金を，次年度会費に充当する形で行う．

総会での会費改定承認終了後，今後請求する現在の冊子版受領者には半年分として500円を徴収する．

会費を前納し，来年7月までに退会される方には，定款通り返金を行わず，500円をご寄付いただく．

現在冊子体を購読し会費を前納した永年会員・名誉会員の1000円については，冊子配布がなくなると半年分 500円を次年度に充当できないので，500円のご寄付をお願いする．

第4号議案 名誉会員候補者の推薦委員会答申と審議

(黒澤庶務幹事，説明：小山内名誉会員推薦委員会委員長)

黒澤庶務幹事より，2021年8月17日の第4回臨時理事会で承認された名誉会員候補者について，同日に名誉会員推薦委員会に諮問したことが説明された．その後，小山内名誉会員推薦委員会委員長より，委員会での審議の結果，候補者全員(記載省略)が名誉会員としてふさわしいとの答申がなされ，黒澤庶務幹事より候補者全員の名誉会員としての承認の提案がなされたが，名誉会員の推薦条件や推薦方法についてさらに議論を深めた方が良いとの結果となり，提案は保留となった．今後，名誉会員の推薦条件や推薦方法等に関する検討委員会を理事会内に立ち上げ，それらの議論を踏まえて今回の提案について再度検討を行うことになった．

第5号議案 2020年度決算及び事業報告の審議(宮脇会長，栗林会計幹事，小暮監事)

宮脇会長より，2020年度事業報告について説明がなされ，栗林会計幹事より，2020年度会計決算報告書(計算書類：貸借対照表、正味財産増減計算書)に基づき，2020年度決算報告について説明があった．2020年度は，Elements分担金がコロナ対応で半額となったこと，「鉱物・宝石の科学事典」の編集作業代の寄付，昨年年会の黒字収支，事務局経費の大幅節減が重なり，最終的に約70万円の黒字決算となったことが報告された．続いて，小暮監事より，8月28日(土)10時30分から実施された2020年度会計及び業務の監査実施結果について，適正であるとの監査報告が読み上げられた．質疑応答の後，決算及び事業報告は異議なく承認された．上記承認を受けた「2020年度決算及び事業報告」を2020年度定時総会資料として会員に配布することとなった．

第6号議案 社員総会の日時・場所，総会の議題・議案の審議

(宮脇会長・大和田副会長，説明：黒澤庶務幹事)

宮脇会長より，2020年度定時総会の日時・場所・出席方法，2021年度一般社団法人第6期事業計画について説明がなされた．その後，黒澤庶務幹事より，総会の目的事項(議題・議案)として以下の通り提示され，質疑応答の後，定時社員総会の日時，場所，目的事項(議題，議案)は異議なく承認された．

日時：2021年9月17日(金)9:00-10:10

場所：広島大学東広島キャンパス理学部E棟1階 E102教室

目的事項

報告事項

- I. 2020年度(一般社団法人第5期)事業報告(和文誌，英文誌編集，行事，広報，渉外，庶務，Elements，会員，その他)
- II. 2021年度(一般社団法人第6期)事業計画書及び収支予算などの件
- III. その他

決議事項

- I. 第1号議案 2020年度（一般社団法人第5期）事業報告，決算承認の件
- II. 第2号議案 理事の辞任に伴う補欠理事の選任について
- III. 第3号議案 会員会費規定第5条の改正について

授賞式

- 一、 日本鉱物科学会賞授与
- 一、 日本鉱物科学会論文賞授与
- 一、 日本鉱物科学会応用鉱物科学賞授与
- 一、 渡邊萬次郎賞授与
- 一、 日本鉱物科学会研究奨励賞授与
- 一、 JMPS学生論文賞授与

第7号議案 社員総会に出席しない社員の「電磁的方法（メール，FAX）」による委任状，議決権行使についての審議（黒澤庶務幹事）

黒澤理事より，総会での議決権行使として，電磁的方法(電子メールなど，FAX)による議決権の代理行使(委任状)と書面による議決権行使ができるようにする提案がなされ，審議の上，異議なく承認された。

第8号議案 2021年年会(広島大学)の開催形態及び参加登録料について（磯部行事幹事）

磯部行事幹事より，新型コロナウイルス感染状況等に伴って開催形態の変更が必要となった場合，広島大学LOCおよび行事委員会に対応を一任することが提案された。審議の上，異議なく承認された。また，年会期間内に開催される2020年度定時総会および2021年度第1回定例理事会について，セッションに参加せずオンラインで総会，理事会にのみ参加する会員については，年会参加登録料を無料とすることが提案された。審議の上，異議なく承認された。

その他 特になし

【10】閉会 以上の議事を終え，16時45分に閉会した。

上記の決議を明確にするため，出席した会長，副会長及び監事がこれに記名押印する。

令和3年（2021年）9月10日

会 長 宮脇 律郎 印

副会長 大和田 正明 印

監 事 小暮 敏博 印

（配布時押印省略）